

経営比較分析表

神奈川県 二宮町

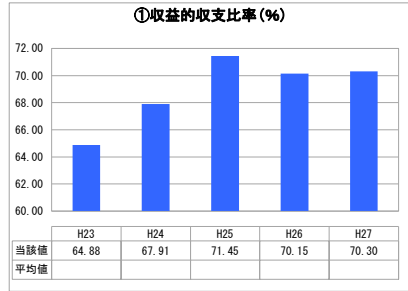
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cb2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	85.36	91.90	2,345

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,267	9.08	3,223.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24,970	3.78	6,605.82

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

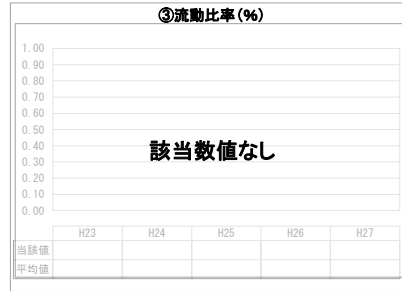
1. 経営の健全性・効率性



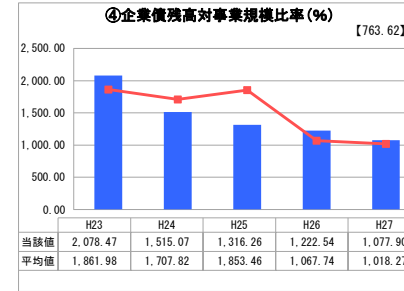
「単年度の収支」



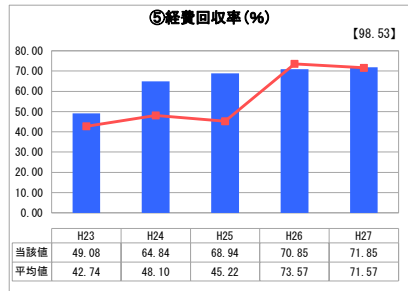
「累積欠損」



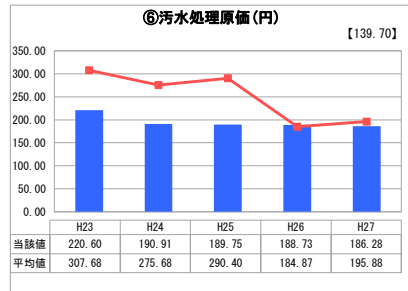
「支払能力」



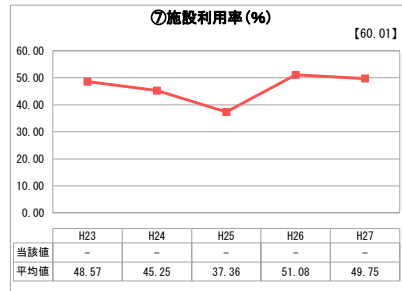
「債務残高」



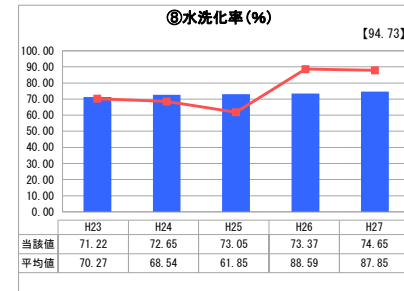
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

各指標の数値は、若干の改善傾向が見られるものの、概ね昨年度と同水準となっています。
単年度での収支を示す収益の収支比率は依然として100%に達していないため、引き続き経営改善に向けた取り組みが必要です。

汚水1㎡を処理するために必要な経費を示す汚水処理原価は平成27年度時点で186.28円で、類似団体の平均値を下回っていることから、経費については概ね適正な効率で経営ができていていると考えられます。

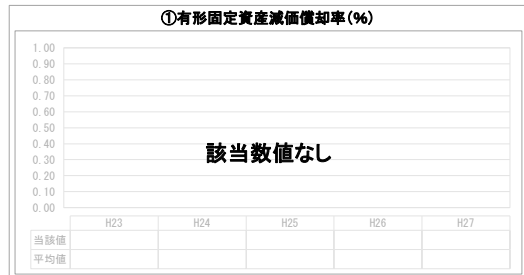
また、経費回収率は、平成27年度時点で71.85%と類似団体の平均値とほぼ同水準ではありますが、健全な経営を実現するためには、経費を回収できる程度まで料金水準を改善し、使用料収入を増加させていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

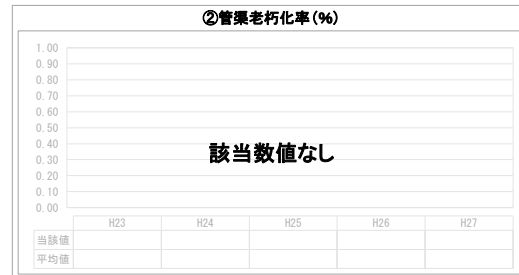
当町の下水道施設は、整備開始が平成3年度、供用開始が平成11年度であり、比較的新しい施設であることから、現時点では老朽化状況の調査等は未実施となっております。

今後、老朽化対策として施設の長寿命化や計画的な更新を図る必要があることから、調査を含めた維持管理計画の作成について検討を進めます。

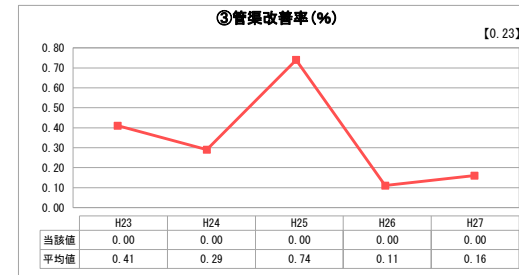
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

全体総括

当町は水洗化率が類似団体平均より低い水準にあるため、戸別訪問による接続勧奨をさらに強化することで、下水道使用者の増加を図ります。
また、料金水準についても定期的な見直しを実施します。

これらの取り組みにより、使用料収入を増加させることで経営の安定化に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。